７川議会発第７１号
令和７年１１月２８日

川内村長　遠　藤　雄　幸　　様

川内村議会議長　渡　邉　一　夫

一般質問の通告について

令和７年第４回定例会において、次により一般質問を行う予定であるので通告いたします。

質　問　者	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨
４番 久保田裕樹	1．防災備蓄倉庫の備蓄品を各行政区集会所へ分散備蓄に移行することについて	防災備蓄倉庫に保管されている災害時生活必需品は、現在、役場・コミュニティーセンター・ゆふねの各敷地内に保管してしているが、近年の異常気象における災害により、孤立する場合を想定し、災害時生活必需品を各行政区集会所に分散備蓄させ、各行政区長の判断により、備蓄管理を行うべきと考えるが執行側の対応を伺う。
	2．田ノ入工業団地における株式会社「農」及び株式会社「リセラ」の現状について	以前にも質問したが、株式会社「農」及び株式会社「リセラ」の経過と対応について伺う。
７番 坪井利之	1．川内村新庁舎等整備について	役場庁舎や中央公民館施設などが一体となっている複合施設白鷹町まちづくり複合施設を行政視察し、町の木を活かした町づくりは新庁舎等整備を計画している川内村も参考にすべきことが数多くあると感じてまいりました。そこで次の点を伺う。 1．白鷹町は相次ぐ豪雨災害で、防災には森林整備が重要であり、町にある豊富な森林

		資源を生かした複合施設を整備する事で、森林整備及び停滞していた林業と木材産業の振興を進めていました。川内村も豊富な森林資源を生かした新庁舎等整備が重要と思うが、村の対応を伺う。 2. 白鷹町まちづくり複合施設の整備財源は、役場庁舎と中央公民館施設などを一体とした整備を行い、また、森林整備と森林資源活用を目的として白鷹町産木材を多く使用した木造で建設し、さらに防災施設とする事により有利な起債を多く活用する事で多額の自主財源の削減を行っていますが、川内村では新庁舎建設の財源をどのように計画しているのか伺う。 3. 白鷹町は、地元の森林の活用や木材の利用について林野庁と人事交流を行い、さらに専門の部署を設けて町民との話し合いを数多く行い複合施設整備を行っていますが、川内村でも新庁舎等整備には専門の部署を設ける必要があると思うが、村の対応を伺う。
	2. 川内村ホームページ最新情報について	川内村ホームページのリニューアル時に最新情報として川内村で行われる天山祭りやかえるマラソン大会等のイベント情報も掲載するように要望しておりましたが、その進捗状況を伺う。
３番 井出剛弘	太陽光発電について	令和５年１２月１５日の議会全員協議会で上川内字大津辺地内の元採草地及び牛舎であった跡地にＳＯＣ株式会社が行う需要家主導型太陽光発電事業として、株式会社大商金山牧場関係者が来村され、事業を行うために村有地の提供をお願いしたいとの説明がありました。 令和７年６月２０日の議会全員協議会で、川内村への地域貢献、学校給食、食材提供、土地賃料など詳しく説明され、ご検討をよろ

		しくお願いしたいとのお話しでしたが、その後、どのような状況なのか、村長にお伺いします。
２番 志田　篤	川内村副村長の兼任職務について	現在、川内村副村長 遠藤清輝氏が、一般社団法人かわうちラボ、かわうちワイン株式会社、株式会社 KiMiDoRi の３社の代表等を兼任されていますが、人材育成及び後継者育成の視点から、下記の件について、村長にお伺いします。 1. ３社の代表及び運営責任者に至る経緯について伺います。 2. ３社の代表及び運営責任者に副村長が兼任する目的・理由について伺います。 3. ３社の代表及び運営責任者に副村長が兼任することの利点・成果について伺います。 4. 副村長としての行政の主な仕事は、福祉・教育など収益性を求めない行政サービスであると思います。しかし、かわうちワイン株式会社及び株式会社 KiMiDoRi は企業経営であり、利益を求める相反するものであり、同一人物が行うことには矛盾が生じると思われますが、所見を伺います。 5. 副村長が、３社の代表及び運営責任者を兼任していること、その他の役職等を考えると、仕事の量が多いのではと思われますが、所見を伺います。 6. かわうちワイン株式会社及び株式会社 KiMiDoRi については、将来の自立を踏まえ後継者や人材育成の視点から新たな人材を登用すべきと思いますが、所見を伺います。